

# 今年は暑かった！

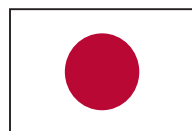
## 第23回奉納剣道大会

(大浦神社春季例祭)



発行所

大浦神社  
〒714-0101  
浅口市寄島町7756  
電話・FAX  
0865(54)2408



祝祭日には国旗  
を掲げましょう

5月5日の大浦神社春季例祭において、第23回奉納剣道大会が開催されました。初夏の境内には雲一つない晴天が広がり、青葉の香りを含んだ薫風が清々しく境内を吹き抜けていましたが、今年は5月とは思えぬ暑さの中での大会となりました。

寄島・里庄・笠岡の小中学生約60名が各学年毎にトーナメント方式で競いあい、優勝者には表彰状、金メダル、表彰盾が贈呈されました。小学校低学年、高学年、中学生それぞれが一生懸命稽古に励んできた成果を存分に発揮し、間近で見ている大人達も元気ももらいました。大神様も手に汗握る熱戦に興奮しながら微笑ましく応援してくださったことと思います。

今後ますます技術は進歩し、私たちの生活は想像できない速さで変化し続けることでしょう。ですが、「もうこのあたりでいいのでは・・・」というのが本音です。春にはウグイスが鳴き、田植えが始まり、秋には収穫を迎え、渡り鳥が飛んでくる。変わらないで欲しいと思っている人々がいること、理屈抜きで人や物を愛しいと深く思うこと、そんなことが大切にされる「令和」という時代であって欲しいと願います。

バブル景気ははじけて「失われた30年」と呼ばれた平成という時代でしたが、私たちがとりまく環境は大きく変化し、5月1日「令和」という新しい時代を迎えました。

2005年(平成17年)。フィルムカメラの頃には、貴重なフィルムで記録した一枚一枚の写真がとても愛おしく感じられました。さらに時を経て今ではインターネットの通信速度は100Mbpsが当たり前、スマートフォンがあればいつでも必要な情報が手に入り、簡単に人と人が繋がりますが、情報も人も目の前を素通りしていきがちに感じます。



デジタルカメラがフィルムカメラの販売台数を逆転したのはあつたものではと心配したものでした。データも現れないと、何か

時は平成元年今から約30年前、携帯電話など無かった頃には、待ち合わせの時に相手が10分、20分、30分経っても現れないと、何か

変わらないで欲しい

宮司 小川 暎興

トピックス  
12月〜5月

奉納剣道大会成績

令和元年5月5日、大浦神社春季例祭において開催された第23回奉納剣道大会の成績は左記のとおりです。

☆2年生以下の部	優勝 佐藤允陽	準優勝 牧野順平
☆3年生の部	優勝 清水菜々乃	準優勝 守屋樹里
☆4年生の部	優勝 藤原璃空斗	準優勝 岡本将希
☆5年生の部	優勝 笠原正義	準優勝 坂本啓人
☆6年生の部	優勝 三宅瑛大	準優勝 三宅遥陽
☆中学生女子の部	優勝 佐藤百合愛	準優勝 牧野汐里
☆中学生男子の部	優勝 島本空	準優勝 井上翔天

メディア掲載紹介

毎日新聞 平成31年3月19日朝刊

文化審

国の登録有形文化財  
大浦神社など答申

文化審議会は18日、浅口市寄島町の大浦神社本殿など8件を国の登録有形文化財にするよう柴山昌彦文部科学相に答申した。近く正式に登録される見込み。これで県内の登録有形文化財は325件(99カ所)になる。

【高橋祐貴】

県内から8件

時代に関する浅口市寄島町に建てられ、室町時代に現在の場所に移ると、大浦神社は平安



国の登録有形文化財にするよう答申された大浦神社本殿―県教委提供

殿は1927(昭和2)年に再建され、2015年に改修。入母屋造と切妻造の屋根を合わせた形状が特徴で、精巧な彫刻が施されている大型社殿だ。本殿のほか、祝詞殿・幣殿・拜殿▽鳥居―

の計3件が登録される。また、岡山市東区の西大寺では、既に登録されている牛玉所殿や奥殿に加え、高祖堂▽経蔵▽仁王門▽石門▽鐘樓門―の計5件が新たに登録される。石門は国内で最大規模を誇る竜宮造の楼門で、石造技術の高さを示している。

●国の登録有形文化財

1996年(平成8年)の文化財保護法改正により創設された文化財登録制度に基づき、文化財登録原簿に登録された有形文化財のことである。登録対象は当初は建造物に限られていたが、2004年(平成16年)の文化財保護法改正により建造物以外の有形文化財も登録対象となっている。登録物件は近代(明治以降)に建造・製作されたものが主であるが、江戸時代のものも登録対象になっている。

●登録制度創設の背景

1996年の文化財保護法改正により、従来の文化財「指定」制度に加え、文化財「登録」制度が創設された。第二次大戦以降の日本においては、急速な都市化の進展などにより、近世末期や近代以降の多種多様な建造物が、その建築史的・文化的意義や価値を十分認識されないまま破壊される事例が相次いだ。このような反省に立ち、昭和40年代頃から、近世の民家建築、近代の洋風建築などが国の重要文化財や、地方公共団体の文化財に指定される例が漸増していった。しかし、急激に消滅しつつある近代の建造物の保護にあたっては、国レベルで重要なものを選定する重要文化財指定制度のみでは不十分であり、より緩やかな規制の必要性が議論された。こうして重要文化財指定制度を補うものとして創設されたのが、文化財登録制度であり、登録された物件を登録有形文化財と称する。



奉納者御芳名

平成30年11月1日から令和元年5月31日の期間に左記のご奉納ご奉仕がありました。(敬称略・順不同)

- 七五三詣り(菊花) 中浜力
新穀感謝祭 高藤定保 中浜悦治 齊藤黎子
敬神婦人会(奉仕) 大室満治 吉田徳雄 中西美治
大注連縄・注連縄 大室照明 鎌田務
紀元節祭(建国記念祭) 中西美治 齋藤黎子 奥田俊彦
春季例祭 清掃奉仕
大浦神社敬神婦人会(約25名)
初穂等奉納者・直会等奉仕者
高藤定保 幸田京子 村上裕美
齊藤黎子 奥田俊彦 日本会議浅口
頃末謙治 某氏4名
節分祭
餅つき奉仕者
竹本康紀 山本勉 三宅信夫

- 高藤定保 中浜悦治 原田幸正
今城光史 三宅寛二 荒川晃行
大室照明 村上昌志 鈴木一志
大室清 大室成人 大島弘子
中西達尾 赤澤真弓 坂本扶佐美
藤井美津恵 月次祭参拝者
餅・餅米・米・御神酒・巻寿司・菓子 奉納者
頃末英克 坂本真人 赤澤芳伸
村上裕美 西嶋勇 小野和昭
住吉力 藤井敬三 笠原堯
荒川晃行 竹本幸久 小笠原一嘉
松森芳子 姫井一太 加藤ひろみ
村上弘明 岡崎智英 原田登志一
荒川幸子 佐藤昇 高藤和子
高田佳幸 今城光史 竹本康紀
大室清 鈴木一志 高田義雄
三宅信夫 三宅寛二 多田羅ヤコイ
大室照明 鎌田務 三宅計太郎
竹本照美 田中文雄 笠岡スズキ販売
今井幸雄 妹尾恵 内海設備
原田幸正 山本宏 中新開総代
原田一男 原田征和 三宅春正
大室壽 作田雅利 小野悦史
中浜悦治 大室進 笠原国樹
山本勉 鈴木貴子 大島治美
大島安隆 小川眞廣 古宮一典
高藤定保 榎日住 有岡戸司明
丸山雅弘 中務治之 占部真里江
佐藤賢次 中西浩典 口ノ町昭子
中尾彰 国本健一 宗田フミエ
幸田京子 竹本裕子 多田羅光之
某氏(5名)
菓子代等奉納者
大島設治 藤井教雅 齋藤黎子

- 奥田俊彦 大室成人 岡城治志
岡田武志 高倉久美 竹内栄
山下昌志 中西亨 田中宏明
神垣伸文 某氏

\*袴着装奉仕者
竹内栄 高倉久美 笠原美恵子
松森芳子 藤井美津恵
御芳名の記載漏れがありましたら、大浦神社までお知らせください。

平成30年度 大浦神社 一般会計決算書
平成30年4月1日~平成31年3月31日

Table with financial data for '歳入の部' (Revenue) and '歳出の部' (Expenditure). Columns include '科目' (Item), '本年度決算額' (This year's fiscal year total), and '附記' (Remarks). Total revenue is 12,183,715 and total expenditure is 12,183,715.

# 神道Q&A



天皇の御代替りに際して執り行われる皇位継承の諸儀式のうち「大嘗祭」について教えてください。

天皇が即位の礼の後初めて行う新嘗祭にいなめさいです。新穀を天照大御神をはじめ天神地祇てんじんぢぎに奉り、自らも食す祭りのことで、天皇一世一度の最大の祭りです。「おおにえのまつり」「おおむべのまつり」とも呼ばれます。

新嘗祭は毎年11月に、天皇が行う収穫祭で、その年の新穀を天皇が神に捧

げ、天皇自らも食す祭儀ですが、当初は大嘗祭とはこの新嘗祭の別名でした。しかし後に、即位後初めての新嘗祭を一世一度行われる祭として、大規模に執り行うこととなり、律令ではこれを大嘗祭とよび、通常の新嘗祭と区別したのです。

大嘗祭に供える稲を出す斎田は亀卜きまぼくという亀の甲羅を使った占いによって選定されます。この斎田は2箇所ありそれぞれ「悠紀ゆき」「主基すき」と呼称され、悠紀は東の地方から、主基は西の地方から選定されるのが原則です。悠紀、主基の順に明治以降の斎田を見ていると、明治では山梨県と千葉県。大正では愛知県と香川県。昭和では滋賀県と福岡県。平成では秋田県と大分県。そして令和元年11月の大嘗祭では栃木県と京都府に決まりました。

# 夏越大祓祭 ご案内

みな月の夏越なごしの祓する人は  
千年の命延ぶと云うなり

「大祓神事」は、6月と12月の末日に全国の神社で一斉に行われる古式ゆかしき伝統的な神事です。

日々の生活の中で知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清めて、清く正しく明るく人間生来の姿に立ち返ることを祈って行う「祓え」の神事です。

どうぞご参加いただき、清々しい気持ちで夏をお迎え下さい。

●日時、平成30年6月30日(日)

午前7時

●場所、大浦神社拜殿(社務の都合により今年には青佐鼻海岸ではありません)



# 投稿紹介

流木に添ひて咲きたる菜の花の  
群生の輝に願ひし復興  
寄島の母50才

皆様から様々な声を募集しています。  
俳句 短歌 川柳 写真  
ご意見・ご感想・お知らせ等々

御祈祷出張祭のご案内

〓 丑頭祈祷〓  
7千円 家内安全 筆祝厄除  
百目詣り 初宮詣り  
安全祈願 当病平癒  
学業成就  
5千円 交通安全 七五三  
出張祭  
〓 出張祭〓  
3万円 地鎮祭 上棟祭  
起工式 家移清祓